

本報告書における留意事項

本報告書における留意事項

地域がん登録の現状と栃木県地域がん登録

1951年に我が国で初めて宮城県を対象に地域がん登録が開始され、その後広島・長崎、愛知県、大阪府と続いた。さらに1983年の老人保健法制定に伴い実施する地方自治体が増加した。栃木県は1993年に地域がん登録事業を開始している。2010年12月現在地域がん登録は都道府県事業として38道府県1市で実施されているが、地域がん登録は全国規模で一斉に開始した事業ではなく、運営の主体は県であり各都道府県がそれぞれの目的に応じてさまざまな体制と方法で実施してきた経緯がある。

地域がん登録の目的は①罹患の把握、②受療状況（発見経緯、進展度、初回治療情報など）、③生存率の把握というがん対策のために必須となるがん統計をつくることである。そのために高い登録精度を達成し維持しなければならない。がん対策に必要な統計は県独自の方法・結果であれば全国や他県との比較が困難である。そのために標準化を厚生労働省に関連する国立がん研究センターがん対策情報センターを中心とした研究班（厚生労働省第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究班」）において推進している。こういった全国的な標準化の流れを受けて栃木県では、2006年11月に標準化を行うために研究班に標準データベース導入を申請し、1年8か月をかけて、1993年から蓄積した約10万件のデータを現在のシステム（標準データベースシステム）に移行し、2008年度より標準化を導入した。2008年1月より登録票も県独自の登録票（P72）から上記の標準登録票（P71）に変更し、情報を収集している。本報告書における2006年症例の情報は、その移行期にあたるものであり、方法が異なることによる統計値の解釈に注意が必要である。たとえば県独自の登録票から得た情報を標準登録様式に変換してデータを移行したため受療状況（特に進行度、発見経緯）については1対1対応で変換できず、頻度や分布が異なっている。

栃木県地域がん登録として2005年症例より遡り調査を開始し、2006年症例については拠点病院やがん診療連携協議会加入医療機関に対して実施した。遡り調査とは、死亡票のみで補完登録された腫瘍を抽出し、死亡診断した医療機関に対して登録票と同じ様式による罹患情報の届出を依頼するものである。この調査によって特に致命率の高いがんでは受療状況の把握が以前より高まった。さらに2004年症例より生存確認調査を開始したことによって近い将来生存率の計算も可能となる。

県内医療機関の協力、標準化導入により2006年症例より全国がん罹患モニタリング集計においても栃木県地域がん登録は比較的精度の良い地域がん登録として全国推計値を算出するデータとなった。

がん対策基本法や、診療連携拠点病院の整備にともなう院内がん登録の推進を背景に届出数が増加している。その結果罹患数が過去に比べて高く報告される可能性があるが、それは登録の悉皆性が増したことによりDCN（精度を表す指標）が向上し、真の罹患値に近づいたためと考えられる（実際の増加ではなく、精度向上による見かけ上の増加）。今後過去の登録との比較において真の増加かどうかの判断は慎重でなければならない。

栃木県地域がん登録届出票 秘

事務局 使用欄	受付番号	使事務 欄局
	受付年月日	
	NO.	

控 用		名称		診療科	届出医師名
①医療機関					
②貴院患者 ID			④性別	⑤生年月日	
フリガナ				0 西暦 1 明治	
③姓・名	姓	名	1 男 2 女 3 他	2 大正 年 月 日 3 昭和 4 平成	
⑥住 所					
診 断 名	⑦ 左右 両側臓器のみ記載	1 右 2 左 3 両側		⑨病理診断名 詳細をお願いします	
	⑧ 部位* 臓器名と詳細部位	(例 胃U, 肺S2, など) 白血病は「骨髄」、悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載			
診 断 情 報*	⑩初発・再発	1 初発 2 再発・治療開始後 3 疑い例			
	⑪診断方法 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (AFPやPSAなど。CEAやCA19-9は部位特異的ではない) 5 臨床検査 (画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術肉眼所見を含む) 6 臨床診断			
	⑫診 断 日	自施設 診断日	0 西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成		診断日の優先順位は、診断方法1-3選択の場合は検体採取日、診断方法4-5選択の場合は検査日、診断方法6選択の場合は入院日、初診日
		初回 診断日	0 西暦 1 昭和 年 月 日 2 平成		
⑬発 見 経 緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他・不明(自覚症状も含む)				
病 期 ・手術施行の場合 術後評価を優先 ・術前・放射線治 療後手術の場合は 術前評価を優先	⑭病巣の 拡がり	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明			
	⑮UICC TNM*	T	N	M	ステージ
	⑯その他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。			
治 療 法* 初回の一連の治療 についてすべてご 記入ください。	⑰観血的治療	1 手術	1 有 2 無		
		2 体腔鏡的(胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無		
		3 内視鏡的	1 有 2 無		
		上記治療を総合した治療結果	1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明 4 姑息・対症療法 9 不詳		
	⑱そ の 他 の 治 療	1 放射線	1 有 2 無		
		2 化学療法	1 有 2 無		
3 免疫療法		1 有 2 無			
4 内分泌療法	1 有 2 無				
9 その他					
⑲死亡年月日	0 西暦 1 平成 年 月 日				
自由記載欄					

◇記入にあたり、不明点や疑問点は栃木県地域がん登録室
(TEL・FAX 028-645-9592) までおたずねください
なお、登録室への連絡事項(届出票・封筒の補充等)が
ありましたら、右欄に記入願います。(07.11)

届出票 10件分綴り 冊 届出用封筒 大 枚
届出票 20件分綴り 冊 届出用封筒 小 枚
届出票 50件分綴り 冊
その他 []

栃木県地域がん登録 届出票

提出用	[登録・変更]		貴院カルテ No			
届出施設	所在地： 施設名：		届出医師名			
フリガナ 患者氏名	男 女	生年 月日	明大 昭平（西暦）	年 月日	年 齢	職 業
住 所			出生地			
来院経緯	1 直接 2 他院から転院（紹介：1 有 施設名 2 無） 3 検診（老人保健法・職場検診・人間ドック・その他） 4 他疾患診療中 5 その他		自覚症状		1 有 2 無	
診 断 名 (部 位)			組織診断			
初発再発 の 区 分	1 初発（1確定 2疑診） 2 再発（1確定 2疑診） 3 不明		再発患者の初発時治療（初発再発の区分で 再発 を選んだ場合のみ記入） 1 入院（1有 2無 3不明） 2 手術（1有 2無 3不明） 3 放治（1有 2無 3不明） 4 化療（1有 2無 3不明） 5 その他（1有 2無 3不明）〔 〕			
原発続発 の 区 分	1 原発 2 続発 3 不明		治療開始日：昭・平 年 月 日 〔施設名： 〕			
進 行 度	1 上皮内 2 早期 3 限局性 4 隣接臓器浸潤 5 所属リンパ節転移 6 遠隔転移 7 進行度分類不能 8 不明					
初 診 日	昭・平 年 月 日		診 断 日		昭・平 年 月 日	
検査内容	1 X線 2 内視鏡 3 超音波 4 CT 5 RI 6 腫瘍マーカー 7 細胞診 8 組織診 9 その他					
多重がん	1 有 2 無 (注)多重がんの場合は、個々のがん毎に登録票を作成して下さい。					
治 療 の 種 類	01 手術(1有 2無) 02 放治(1有 2無) 03 化療(1有 2無) 04 ホルモン(1有 2無) 05 免療(1有 2無) 06 TAE(1有 2無) 07 アルコール(1有 2無) 08 温熱(1有 2無) 09 レーザー(1有 2無) 10 内鏡(1有 2無) 11 その他〔 〕					
治療開始	昭・平 年 月 日		手術日		昭・平 年 月 日	
治 療 の 達 成 度	1 病巣切除(1根治的 2非根治的 3その他) 2 病巣非切除(1吻合 2単開 3その他) 3 放射線治療(1根治的 2非根治的 3その他) 4 化学療法(1根治的 2非根治的 3その他)					
入院有無	1 有 2 無	貴院指示	1 貴院で加療中 2 他院へ紹介(施設名：)			
死亡情報	死亡日：平 年 月 日		死因：1 原病死 2 他死因()		剖検：1 有 2 無	
受 付 日	平成 年 月 日		登録の有無		1 新規登録 2 登録済(登録番号：)	
◇記入にあたり、不明点や疑問点は栃木県地域がん登録室 (TEL・FAX 028-645-9592)までおたずねください。 なお、登録室への連絡事項(届出票・封筒の補充等)が、 ありましたら、右欄に記入願います。 (04.03)			届出票 届出用封筒(大) (小) その他 〔 〕		冊 枚 } 送付希望 枚 }	